



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017







あけましておめでとうございます。ふれディア通信編集部です。2025年がスタートしました。年末年始に、長くお休みがとれた方もいらっしゃるのでは？ このお便りを手に取る頃には、日常生活に戻っているでしょうか。今年の干支は、巳^み蛇。年賀状など、あちらこちらでヘビのイラストが目に入ってくると思いますが、それらは威厳が感じられるものであったり、かわいらしかったりします。ですが、本物のヘビは、正直、怖いですね。ニョロニョロした見た目で見られがちなヘビは、古くから信仰の対象になっていたりします。「白蛇は縁起がいい」という話を、ご存じの方も多いたはず。白蛇に限らず、ヘビは脱皮を繰り返し、新しい姿に生まれ変わることから、死と再生を象徴しています。そうそう、成長して洗練されていく様子を、「ひと皮むける」と言ったりしますね。語源はさだかではないようですが、ヘビ（または昆虫）のことを指している、という説もあります。『古事記』にもヤマタノオロチというヘビの怪物が登場し、スサノオノミコトに退治されるさまが書かれていますが、このヤマタノオロチは、実は川のことだったのでは？という説も。ある意味、ヘビは人間がどうやってもかなわない自然の象徴だったのかもしれない。世界各国では、どうでしょうか？ 中国でもヘビは神聖な生き物とされ、中国の干支にもヘビが登場します。インドでは、水と豊穡の神様だそうです。ギリシャでは、古代ギリシャ神話にアスクレピオスという名医が出てきて、アスクレピオスが持っているのはヘビが巻き付いた杖。これに由来する現代のWHO や救急車のマークのヘビは、医療の象徴となっています。このように、各地で信仰の対象となっているヘビですが、例外もあります。それは、ユダヤ教やキリスト教。旧約聖書で、ヘビは、イブをそそのかし、アダムとイブを追放に至らしめた悪の存在です。世界各地で恐れられこそすれ、人間をそそのかすような存在ではなかったヘビなのに、キリスト教圏ではちょっと悲しい立場にあるんですね。今年は、ヘビが脱皮を繰り返すように、新しい自分になって、何かに挑戦してみたいはかがででしょうか？ 私も新たな気持ちで邁進してまいります！ では、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。ふれディア通信編集部






脳がイキイキ! 健康クロスワード

解答は別ページに載っています。

タテのカギ

- 元気をなくすことの例え。〇〇〇〇に塩。 
- 2月22日は「〇〇の日」です。
- 電気ケトルやポットなどに役目を譲り、勇退している家庭も。 
- 日本原産のハーブ。和食の薬味としても使われます。
- セキセイ〇〇〇、オカメ〇〇〇、コザクラ〇〇〇。  〇〇〇に入る鳥は？
- ホタテ、サザエ、カキ、アワビ。殻付きの水産物を何と呼ぶ？ 

ヨコのカギ

- 自分より先に生まれた女の兄弟のことを何と呼ぶ？
- 〇〇の心子知らず。 
- 赤飯は〇〇〇〇の仲間になります。
- 三角関数といえば、〇〇〇、コサイン、タンジェント。
- 切り花を飾るために使うものといえば？ 
- 1月下旬から観測しやすくなる〇〇の明星。
- トウモロコシ、小麦とともに世界三大穀物とされています。 

やわらかさと甘さが増し、たくさんの量が食べられる野菜の調理法といえば？

A~Eをつなげた言葉が答えです。

1	2	3	4	C
5	A	6		
		7	D	8
	9			B
10		E		11